

パリ外国宣教会研究会（日本語略称「MEP 研究会」）

Research Group on the Missions Étrangères de Paris in Asia

パリ外国宣教会（Missions Étrangères de Paris, 以下 MEP）は、17 世紀後半以降、アジア各地で宣教活動を展開し、宗教のみならず政治・社会・文化にわたって多大な影響を与えてきました。

このたび私たちは、MEP の活動とその歴史的影響を、アジアの漢字文化圏（日本列島・琉球諸島・中国大陸・朝鮮半島・ベトナムなど）に焦点をあてて考察・検討する研究会を新たに立ち上げます。

MEP の影響の大きさにもかかわらず、これまでその研究は国際的にも十分に進んでいるとはいえ、日本においてはキリスト教（カトリック）史研究が主に 16～17 世紀のイエズス会に偏っていました。

しかし、2019 年にパリ本部にフランス・アジア研究所（Institut de recherche France-Asie）が設立され、資料の整備と公開が進んだことを契機に、MEP に関する研究はフランスおよび宣教諸国において急速に進展しています。私たちは、アジアの「近代」を多面的に検討するうえでも必須である MEP を研究対象に据え、研究者同士の交流と連携を促進する場として、この研究会を企画しました。

ご関心のある方々のご参加を心よりお待ちしております。

第 1 回 パリ外国宣教会研究会 開催のご案内

日時：2026 年 3 月 14 日（土）日本時間 16 時 30 分～19 時ごろ（フランス時間 8 時 30 分～11 時ごろ）

開催形態：ハイブリッド（対面+Zoom）

対面会場：公益財団法人東洋文庫 2F 講演室（〒113-0021 東京都文京区本駒込 2 丁目 28-21） <https://toyo-bunko.or.jp/access/>

発表形式：発表 25 分 + 質疑応答 15 分（計 40 分）

使用言語：日本語または英語

会費：無料

参加希望のかたは、2026 年 3 月 11 日（水）までに、下記フォームよりお申し込みください。Zoom 設定は 3 月 13 日（金）ごろ、申込者全員にメールでお送りいたします。

<https://forms.gle/ZEY7uedAPJhC3Vag6>

プログラム

1. 東アジアにおける MEP の procure の歩みと役割—香港・上海・シンガポール
ル・ルー清野 ブレンダン (法政大学)
2. 浮世草子『新鑑草』とパリ外国宣教会による初期日本宣教
岸本 恵実 (大阪大学)
3. 後期ルネサンスからエッフェル塔の時代へ：『聖教初學要理』(1868 から 1885 まで)
岡本 愛子 (Indiana University)

お問い合わせ (発起人) :

岸本恵実 (大阪大学大学院人文学研究科)

kishimoto.hmt@osaka-u.ac.jp

マルタン・ノゲラ・ラモス (フランス国立極東学院)

martin.ramos@efeo.net

牧野元紀 (公益財団法人東洋文庫)

makino@toyo-bunko.or.jp